

# ASK ニュース

Vol.0204

2016年5月23日(月)  
担当：MS事業部 北野

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-21 損保ジャパン名古屋ビル1F  
ASK 税理士法人 TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

## ソーシャル・ネットワーキング・サービス

### はじめに

スマートフォンが普及するに従い、会社やお店の宣伝をソーシャルネットワーキングサービス（SNS）を通じて行う会社も増えています。

そこで、SNSについて総務省の情報通信白書より、傾向をみていきたいと思えます。

### SNSの特徴

SNSは色んな人が自分の意見等を上げているイメージがあると思いますが、実は、自ら積極的に情報発信を行っている人は少数であります。それに対して、人の投稿を知人と共有する情報の拡散（Facebookの「いいね！」やTwitterの「リツイート」などで情報を拡散すること）は、SNS利用者の5割以上の方がしており、そのうち約17%の人は、ほぼ毎日実施しています。

この情報拡散する機能をうまく利用して、お店や会社の情報を宣伝できるとよい宣伝となります。しかし、反対に悪い情報も拡散されるおそれがありますので、SNSへの書き込みは慎重に行う必要があります。

### 拡散させる情報の選択

SNS利用者は、どのような基準で拡散する情報を選んでいるのでしょうか。アンケートによると「内容に共感したかどうか」が一番多く、「内容が面白いかどうか」がこれに続きます。これに

対して、「情報の信憑性が高いかどうか」は、少なく、信憑性より共感できるかどうかや面白いかどうか拡散する情報を選ぶ基準となる傾向となっています。

つまりは、載せる内容を多くの方が共感できるものにしたたり、面白い（興味を有てるような）内容であると、拡散する可能性が高くなります。

### 最近の傾向

ソフトウェア開発会社の「ジヤストシステム」の「モバイル&ソーシャルメディア月次点検調査」H28年4月の結果によるとFacebookは、利用総数には大きく変更がありませんが、10代の離脱が増えその代わりに30代・40代の男性の利用率が上がってきています。

また、Lineは、10代の女性は90%が利用しているとされており、年代、性別により利用するSNSが異なります。

### おわりに

SNSを利用した宣伝を行うには、ターゲットとなる年代・性別がどのSNSを利用している率が高いか、どんな情報なら拡散してくれるか等を考慮の上戦略を立てることにより、効果的な宣伝を行うことができます。